



2025 年 6 月 30 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証プライム市場)

「未来創生 3 号ファンド」

カイク由来機能性原料の研究開発に強みを持つ Morus 株式会社への投資実行

—原料メーカーとして、カイクを次世代の食と健康の産業素材へ—

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2021 年 10 月に設立された「未来創生 3 号ファンド」が、Morus 株式会社（本社：東京都千代田区代表：佐藤亮、以下「Morus 社」）へ投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。Morus 社は、今回の調達資金を活用しカイク由来の機能性原料を通じて、健康増進および持続可能な食糧供給の実現に貢献するため、量産体制の強化とグローバルパートナーシップの構築を推進してまいります。

■投資先企業の概要

Morus 社は、カイク由来の機能性原料を手がける、信州大学発の研究開発型メーカーです。Morus 社は日本発の原料であるカイクによる、健康課題・食糧課題などのグローバルな課題解決を目指し、研究開発・事業開発を進めてきました。今回の資金調達により、製品のグローバル展開の本格化に向け、事業成長とチーム拡大を加速していきます。

■「未来創生（1 号）ファンド」、「未来創生 2 号ファンド」および「未来創生 3 号ファンド」の概要

未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半年期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。そして、2021 年 10 月から未来創生 2 号ファンドの 5 分野に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とし、スパークスの子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社 をファンド運営者とした未来創生 3 号ファンドの運用を開始しました。2025 年 5 月末時点の運用資産残高は、1 号、2 号および 3 号をあわせて、1,052 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com